

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称（製品名）	HIPS
製品コード	
供給者の会社名称	APPLE TREE株式会社
住所	〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4-5-9
担当部門	
担当者（作成者）	
電話番号	06-6710-9061
ファクシミリ番号または電子メールアドレス	info@apple-tree.co.jp
緊急連絡電話番号	
推奨用途	
使用上の制限	3Dプリンタ用フィラメントとして
整理番号	

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	本製品はGHS分類基準に該当しない。
GHSラベル要素	
絵表示またはシンボル	該当しない
注意喚起語	該当しない
危険有害性情報	該当しない
注意書き	該当しない
GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性	拡散した場合、爆発可能性のある粉じん(塵)－空気混合物を形成する可能性あり。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物																	
化学名又は一般名	<table><thead><tr><th rowspan="2">化学物質名</th><th colspan="2">官報公示整理番号</th><th rowspan="2">CAS No.</th><th rowspan="2">濃度又は濃度範囲</th></tr><tr><th>化審法</th><th>安衛法</th></tr></thead><tbody><tr><td>HIPS</td><td>6-120</td><td>既存</td><td>9003-53-6</td><td>>99.9%</td></tr><tr><td>添加剤</td><td>非開示</td><td>非開示</td><td>非開示</td><td><0.1%</td></tr></tbody></table>	化学物質名	官報公示整理番号		CAS No.	濃度又は濃度範囲	化審法	安衛法	HIPS	6-120	既存	9003-53-6	>99.9%	添加剤	非開示	非開示	非開示	<0.1%
化学物質名	官報公示整理番号		CAS No.	濃度又は濃度範囲														
	化審法	安衛法																
HIPS	6-120	既存	9003-53-6	>99.9%														
添加剤	非開示	非開示	非開示	<0.1%														

4. 応急措置

吸入した場合	<p>形状から見て、ペレットを吸入する可能性は低い。</p> <p>粉じん(塵)等を吸い込んだ場合、口をすすぐ。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。呼吸に関する症状が出た場合は、医師の診断/手当てを受ける。</p> <p>高温の溶融樹脂から発生した分解ガスを吸入した場合、気分が悪いときは、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。医師に連絡する。嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。</p>
皮膚に付着した場合	<p>高温の溶融物からの発生ガスの凝縮物が付着した場合多量の水と石鹼で洗う。</p> <p>溶融物が付着した場合、衣服の上から大量の水をかけ十分に冷却する。皮膚を流水/シャワーで洗う。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当てを受ける。</p> <p>すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。皮膚と接触した場合は直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。</p>

眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。 眼の刺激が続く場合、医師の診断／手当てを受ける。 眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い、医師の診断を受ける。 眼球を傷つける可能性があるため、こすらない。
飲み込んだ場合	嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。 事故の場合又は気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受ける。 飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項やラベル、SDSを示す。 飲み込んだ場合は、水で口内を洗う(その人の意識がある場合のみ)。
応急措置をする者の保護に必要な 注意事項	個人用保護具を着用すること。
医師に対する特別な注意事項	この容器のラベルに記載された注意事項又はSDSを示す。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	散水、水噴射、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤
使ってはならない消火剤	水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。 冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。
火災時特有の危険有害性	火災時には、熱分解や不完全燃焼により黒煙と有害な一酸化炭素、スチレンモノマー等の揮発分を含有するガスが発生するので注意する。
特有の消火方法	消火作業は可能な限り風上から行う。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 火元への燃焼源を断ち適切な消火剤を使用して消火する。 消火のための放水等により、製品が海洋、河川等に排出され、環境へ影響を起さないように適切な処置をする。 初期消火には水、粉末消火剤を用いる。大規模火災の場合には、耐アルコール泡で消火する。容器周辺が火災の時は、容器を安全な場所に移動する。移動ができないときは、容器に水を散水して冷却する。
消火活動を行う者の特別な保護具 及び予防措置	火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	ペレット、粉末共に床面に残ると滑る危険性が高いため、こまめに処理する。 作業の際は適切な保護具を着用し、粉じん(塵)、ガス(高温時)を吸入しないようにする。 屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。 漏出した場所の周辺にはロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏出物が河川、水路等公共水路に飛散しないように掃き集め、容器に回収する。 飛散したものは、掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。 回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。 漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。 万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	<p>容器は注意して取扱い、開ける。 使用時には飲食しない。 皮膚との接触を避ける。 眼との接触を避ける。 静電気放電に対する予防措置を講ずる。 粉末状の樹脂が存在する時は、粉じん(塵)爆発の可能性があるため、これらの滞留を避ける。 空気にて移送する場合は、移送速度を低くし、確実な接地を行う等して静電気災害防止を確実に実施する。 バグフィルター、ホッパー等の設備は静電気を除去するための接地を行う。 取扱いは換気のよい場所で行う。 取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。 作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。 『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策、保護具を参照のこと。</p>
安全取扱い注意事項	<p>過度に加熱すると分解し有害ガスが発生するおそれがあるため、注意するとともに、ガスを吸入しないよう換気を十分に行う。</p>
接触回避 衛生対策 保管	<p>『10.安定性及び反応性』を参照。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。</p>
安全な保管条件	<p>法規に従った施設に保管する。 容器を密閉して保管する。 直射日光が当たらない場所に保管する。 熱源、発火源から離れた場所に保管する。 高温多湿な場所を避けて保管する。 有機溶媒とは離して保管する。</p>
安全な容器包装材料	<p>ポリエチレン、ポリプロピレン容器包装材料</p>

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

化学物質名	管理濃度	許容濃度 (ばく露限界値)	
		日本産業衛生学会 2021年版	ACGIH 2021年版
ポリスチレン	未設定	未設定	未設定
粉じん(塵)	未設定	第3種粉じん(塵) 2 mg/m ³ (吸入性粉じん(塵)) 8 mg/m ³ (総粉じん(塵))	他に指定が無い微粒子 3 mg/m ³ (吸入性粒子) 10 mg/m ³ (吸引性粒子)

設備対策	<p>粉じん(塵)を発生させるような取扱いをする場合には、密閉された装置、機器、又は局所排気装置を使用する。 取扱い場所の近くに洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設けることが望ましい。 高温加工時に空気中に開放される部分でガスが発生するので、快適な作業環境を得るため局所排気等を設けるのが望ましい。</p>
保護具 呼吸用保護具	<p>樹脂製品の機械加工等粉じん(塵)の発生する作業の時には、防じん(塵)マスクを着用する。 発生ガスを吸入する可能性のある場所で作業する場合は、有機ガス用マスクを着用する。</p>
手の保護具	<p>ペレットを扱う時は特に必要ないが、溶融樹脂を取り扱う時は、耐熱性の良い手袋を着用する。</p>
眼、顔面の保護具	<p>樹脂製品の機械加工等粉じん(塵)の発生する作業の時には、保護眼鏡を着用する。 保護眼鏡は、樹脂製が望ましい。</p>
皮膚及び身体の保護具	<p>保護服(長袖作業衣)、保護長靴、保護服等 帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴を推奨する。</p>

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体(ペレット状)
色	白色

臭い	無臭
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	345-360°C
自然発火点	488-496°C
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に不溶。メチルエチルケトン、トルエン等に可溶。
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	一般的な貯蔵、取り扱いにおいて安定。
化学的安定性	データなし
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	過度に加熱すると分解し有害ガスが発生するおそれがあるため、溶融した樹脂を大気中にばく露しないように注意する。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、スチレンモノマー等。但し、完全燃焼すれば有害ガスは出ないとされている。

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	データ不足のため分類できない。
経皮	データ不足のため分類できない。
吸入(気体)	分類対象外
吸入(蒸気)	分類対象外
吸入(粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	区分に該当しない。 IARCでは、グループ3(ヒトに対する発がん性について分類できない)と評価されていることより、区分に該当しないとした。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 短期(急性)	データなし
水生環境有害性 長期(慢性)	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし

オゾン層への有害性 本成分はモントリオール議定書の付属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制
国連番号 非該当

国内規制
陸上規制情報 消防法の規定に従う。
海上規制情報 非危険物
航空規制情報 非危険物

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。
転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
梱包袋が破れないように、水濡れや乱暴な取り扱いを避ける。破袋してペレットが飛散した場合は、滑って転倒しないように注意する。流出したものは速やかに全量回収する。
空気移送の場合は、移送速度を低くし、確実な接地を行うなどして静電気災害防止を確実に実施する。火気を避ける。

緊急時応急措置指針番号 非該当

15. 適用法令

消防法 指定可燃物(合成樹脂類3,000kg以上)

毒物及び劇物取締法 非該当

化学物質排出把握管理促進法 非該当

労働安全衛生法 非該当

16. その他の情報

連絡先 APPLE TREE株式会社

引用文献 JIS Z 7252:2019
JIS Z 7253:2019
GHS対応ガイドライン 2019年6月 (一般社団法人 日本化学工業協会)
NITE
メーカーSDS
プラスチック・データハンドブック (工業調査会 1980年)

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。なお、新しい知見及び試験等により改正される事があります。また、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものです。全ての化学製品には、未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。